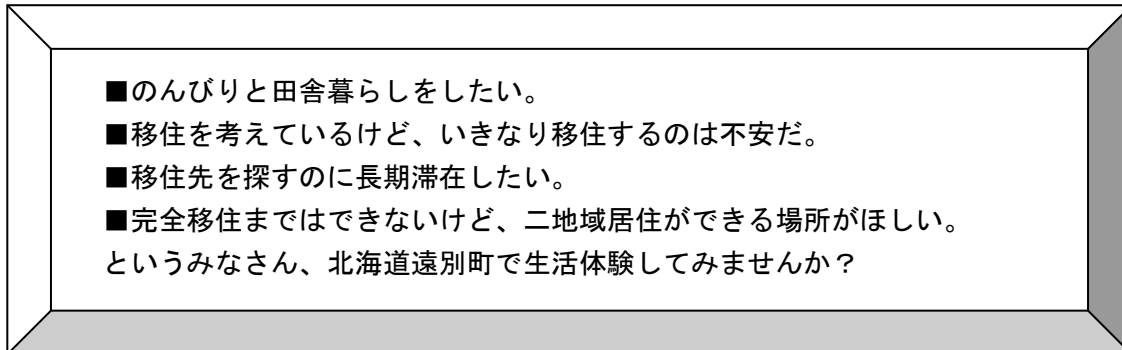


のんびりと、田舎暮らしをしてみませんか？

～ちょっと暮らし生活体験事業 参加者を募集します～

《北海道 遠別町（えんべつちょう）》



移住や二地域居住を一度に決断するには、不安なことが多すぎると思います。生活体験をしているうちに、遠別町のことがだんだんとわかってくると思います。まずは、生活体験をしてみませんか？

今回、遠別町では、生活体験のための住居（必要最低限の生活備品付き）を用意し、遠別町もしくは北海道内への移住を検討している方を対象に参加者を募集しています。参加される方にとって、移住へのステップアップになればと期待しています。

※二地域居住…今住んでいる場所以外に別の地域にも居住先を持ち生活をするを言います。

遠別町はどんな町？

北海道の北部、稚内市から日本海側沿いに約90km南下した地点に位置し、近隣には、利尻礼文サロベツ国立公園があり、利尻島を背景に日本海に沈む夕陽が美しい、人口2千7百人の小さな町です。

第一次産業を基幹として、稲作（もち米）の日本最北地であり、また、丘陵地での酪農や自然豊かな日本海でホタテ養殖も盛んです。

住民ひとり一人が充実感を持って生活を送るために、心の豊かさを大切にして「人のつながりから生まれる 笑顔の町づくり」を目指しています。



札幌市から車で約4時間程度（約250km）
旭川市から車で約3時間程度（約180km）
稚内市から車で約1時間30分程度（約90km）

【北海道遠別町：ちょっと暮らし生活体験事業実施概要】

1 体験住宅

「遠別町移住交流支援センター」

2 募集期間

平成30年 2月 5日（月）～ 2月28日（水）

※上記期間に応募された中から選考・決定し、その結果を文書等でお知らせします。

なお、事前募集後は、随時、応募を受け付け、空き状況に応じて選考・決定します。

3 滞在期間

平成30年4月～平成31年3月まで、最短4泊5日以上～最長1ヶ月程度とします。

4 参加資格

(1) 実際に遠別町内で暮らすことを想定し、町内での生活を優先していただける方。

(2) 遠別町もしくは北海道内への移住や二地域居住をお考えの方。

(3) 単身または家族、親族での参加を基本とし、年齢制限はありません。（ペットの同伴はお断りしています。）

(4) 体験事業に参加していただける方（地場産品料理教室、住民交流会、農園体験など）

(5) 事業の趣旨に賛同し、簡単な日記の記入やアンケート調査にご協力いただける方。

(6) ホームページへの日記及び写真掲載、調査データ等の活用、マスコミの取材等にご協力いただける方。

5 応募方法

応募用紙を遠別町ホームページ (<http://www.town.embetsu.hokkaido.jp>) より、ダウンロードいただくか、下記の問い合わせ先へ連絡してお取り寄せいただき、同申込み先まで郵送、FAXまたはE-mailにより、ご応募ください。

6 参加決定方法

○参加資格を満たしているかなどの「審査・選考」により、体験者を決定します。

○利用希望日が重なった場合は、「選考・日程調整」などを行います。

○参加決定は、3月上旬を予定しています。

○少しでも多くの方にご利用していただきたいと思っておりますので、新規のお申込者様を優先させていただきますことをご了承願います。

7 その他

○印鑑をご持参ください。（住居の賃貸契約を交わします）

○遠別町へ到着後、町内のご案内などのオリエンテーションをさせていただきます。

○参加に関する詳細につきましては、決定後、ご連絡いたします。

8 お問い合わせ・お申し込み先

○担当者：移住交流支援センター（NP0法人えんべつ地域おこし協力隊：長谷川）

○所在地：〒098-3543 北海道天塩郡遠別町字本町2丁目 移住交流支援センター内

○連絡先：電話 01632-9-7151 FAX 01632-9-7152

○E-mail：info@en-oko.com

【遠別町移住交流支援センター「ぴーぷる」施設概要】

平成13年度に建設された5LDKの移住交流支援センターです。
人と人をつなげるという意味を込めて、「ぴーぷる」と名付けられました。



居住棟、事務所棟があり、事務所棟にはえんべつ地域おこし協力隊と移住コーディネーターが常駐しており、生活のちょっとしたアドバイスや相談を受けることもできます。

ご希望に合わせて和室5部屋をご利用可能です。ブロードバンド環境は、無線LANを完備しております。通信料も無料です。

キッチン、風呂、洋式トイレ完備です。その他、テレビ・冷蔵庫・電子レンジ・洗濯機等の家電用品をご自由にお使いいただけます。



【住宅利用料など】

- ① 1日1千円の住宅料金となります。
- ② 体験事業については、若干の費用負担が予定されます（1事業1千円程度）
- ③ 寝具の提供は行っておりません（斡旋・仲介は行っています）
- ④ 住宅の使用は、1組のみとなります。